

2005.6.23 岐阜

分析と環境調査継続を

フェロシ
ルト問題 市民団体、県に要請

瑞浪、土岐、可児市などが使用され、有害物質が
多く放射性物質を含む埋 検出された問題で、岐阜
め戻し材「フェロシルト」市の市民団体「放射能の

ゴミはいらない！市民ネ
ット・岐阜」（兼松秀代
代表）など二団体は二十
二日、採取した試料によ
って放射性物質や重金属
の含有量が異なるとし
て、詳細な成分分析と周
辺への継続した影響調査
を求める要望書を県に提
出した。

同団体によると、フェ
ロシルトは原料の鉱石の
違いで成分にはらつきが
あり、県外で採取された
試料を別の市民団体が調
べたところ、製造元の石
原産業の検査結果に比べ
ウランで最高六倍、トリ
ウムで同九倍の含有量が
認められたという。

要望書では、こうした
差異は重金属でも予測さ
れるとして、搬入場所こ
とに複数個所でフェロシ
ルトの分析を行うことや
複数機関による正確な分
析を要望。周辺の土壌や
井戸水でも同様の調査を
求めた。

また、判明している十
力所以外での搬入の追跡
調査や分析結果の情報公
開も要望した。県には来
月十二日までの回答を求
めている。

2005.6.29 中日

撤去後も環境調査継続

フェロシルトで知事が方針

埋め戻し材「フェロシルト」が使用された県内の造成地から、土壌の環
境基準を上回る六価クロムが検出された問題で、古田知事は二十八日の
会見で、業者が自主撤去した後も周辺の環境調査を継続する方針を明らか
にした。（小沢 伸介）

古田知事は「撤去後の」の連携にも十分目配り
にフェロシルトの使用場
土壌の状況や地下水の調
し、住民に不安や懸念が
所が見つければ、調査な
らざる。関連する市と
ないようにしたい。さら
どでフォローアップす

る」と述べた。
県の調べで、フェロシ
ルトが埋め立てられた可
能性があるのは県内で十
力所。このうち四力所の
調査結果が判明し、発が
ん性がある六価クロムが
三力所で土壌環境基準を

上回って検出された。フ
ッ素も二力所で検出され
た。地下水は基準に適合
していた。
市民グループは県に対
し、フェロシルト搬入場
所の確認や、周辺環境調
査を継続するよう要望し
ていた。